

刺青奉行

帝キネ時代映畫

原作脚色者 遠山金四郎
 監督者 島居耀蔵
 撮影者 遠山金左衛門
 主要役割
 市川百々之助
 片桐恒男
 菅木芳美
 嵐 誠太郎
 中村 誠
 喜多見 順
 阪東 昇
 久野 あけ
 望月 静
 河合 静
 尾崎 静
 松崎 静
 藤川 延
 中村 仙三
 沖田 英二

遠山金四郎
 島居耀蔵
 遠山金左衛門
 小町中川文太夫
 牛蒡留
 部屋頭喜之助
 筒井伊賀守
 侍女お梅
 女役者阪東七五三次
 愛妾おくらの方
 金四郎義母京
 その妹、白窗のお六
 將軍家齊
 金四郎弟新之助
 石神六郎
 忠僕周平



寫真 「刺青奉行」帝キネ、渡邊新太郎作品。
 市川百々之助と久野あけ。

解説——渡邊新太郎氏の「毒蛇」に次ぐ作品である。略筋——遠山金四郎は、繼母との所合悪しく、長男の身を自ら捨て、家を去り牛蒡留の身内となつた。開港論者高野長英が捕へられて護送される夜、大目付鳥井耀蔵は喜之助の心を合せて長英を奪つた。そしてその魔手は何故か金四郎の上にも及ぼうとしてゐた。金四郎は或る日、女役者七五三次の家で危急を救つた旗本石神六郎の忠僕周平から、喜之助が妻お貞を救つたにかつて石神一家を苦しめ、更らに系圖書を奪つたことを聞き喜之助に對する反感は高まつて行つた。誘はるゝまゝに金四郎は白窗のお六の家を訪れたが、相次いで起る奇怪な事件に、熾威の魔手漸く急なるを知つたが、何故の迫害が列らなかつた。遠山家では新之助の死を共にし、金四郎を呼び返さうとしたが、過去の思ほしい記憶を思ひ浮べて歸らうとはしなかつた。然し北町奉行筒井伊賀守より、父金右衛門の難儀を將軍家におらうの方の心痛を、鳥井一味の悪謀を聞くや奮然起つた。お六の家の奇怪な出来事の記憶を、侍女お梅の問謀に依り、金四郎の決死的活躍は、首尾よく起請文を奪ひ、高野長英を救ひ出した。南町奉行となつた金四郎は、お梅と七五三次の死を悼みつゝも鳥井一味の悪計を裁いて行つた。